

共催：国際開発ジャーナル社、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、
上智大学 国際協力人材育成センター

ビル&メリンダ・ゲイツ財団 グローバルヘルスへの挑戦！

ビル&メリンダ・ゲイツ財団は、「全ての生命の価値は等しい」という信念の下、極度の貧困を終わらせることを目標にビル・ゲイツ、メリンダ夫妻が2000年に設立しました。以降、マラリアやHIV/エイズ、ポリオなど大規模な感染症をコントロールするため、新型ワクチンの開発や感染症対策プログラムの実施などに対して投資を行うほか、家族計画や母子保健、栄養改善など、主に保健分野の課題に取り組んでいます。

戦略・オペレーション担当副局長を務める馬淵俊介氏は、シアトルにある財団本部で唯一の日本人で、新薬や医療キットのデリバリー支援、開発途上国の保健システム強化へ向けたプログラムに携わっています。今回はそうした財団の活動やグローバルヘルスにおける現状と課題、さらには国際協力機構（JICA）や世界銀行などでの経験も踏まえた国際キャリア形成について講演します。

2019年2月26日（火） 18：30～20：00（開場18：00）

＜スピーカー＞

ビル&メリンダ・ゲイツ財団
戦略・オペレーション担当副局長
馬淵俊介氏

- ◆会場：上智大学四谷キャンパス
2号館17階国際会議場
(JR/東京メトロ「四ツ谷」駅徒歩5分)
<https://www.sophia.ac.jp/>
- ◆対象：大学生、大学院生、一般
(※要事前申込み、参加無料)



【略歴】

米ハーバード大学ケネディ行政大学院にて公共政策修士、米ジョンズホプキンス大学にて公衆衛生修士および公衆衛生博士号を取得。これまで国際協力機構（JICA）やエチオピア財務省、国連開発計画（UNDP）、マッキンゼー・アンド・カンパニー（日本および南アフリカ支社）、世界銀行などで勤務。世界銀行では、西アフリカのエボラ出血熱緊急対策やリベリア、ナイジェリア、タンザニア、ソマリアの保健医療協力などのチームリーダーを務めた。2018年よりビル&メリンダ・ゲイツ財団でデリバリーグループの戦略、オペレーション責任者を務めるとともに、開発途上国の保健システム強化へ向けたプログラムをリードしている。



◆申込み方法：

以下リンクまたはQRコードより必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

<https://eipo.jp/sophia/seminars/>

※ 日本で唯一の国際協力専門誌『国際開発ジャーナル』
3月号・国際保健特集を参加者全員にプレゼントいたします。



お問い合わせ先：上智大学 国際協力人材育成センター
Tel：03-3238-4687 / E-mail：hrc-ic@cl.sophia.ac.jp